

国民の申請権を侵害し、餓死や孤立死をうみだす 生活保護法「改正」案の廃案を求める請願書

2013年 月 日

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

紹介議員名 _____

請願理由

現在、国会に提出されている生活保護法「改正」案は、申請という制度利用の入り口で生活保護のしめつけを強め、申請権と人権を侵害するものです。

「改正」案は、これまで可能であった口頭での申請を認めず、資産や収入、扶養の状況などの書類提出を義務付け、当事者間の話し合いを原則としている扶養について、扶養が困難な理由の報告を義務付けし、扶養義務を事実上の条件にする、就労の強要と、新たに健康状態や家計支出の調査などの調査強化、不正受給の罰則強化と差押えの制度化、医療扶助削減などを内容としています。

2012年1月に札幌市白石区で、3度も相談窓口を訪れていたにもかかわらず、「懸命な求職活動をする」ことを求められた40歳代の姉妹が病死・凍死するという悲しい事件が起きたばかりです。

「改正」案はこうした違法な「水際作戦」を「法制化」するものです。生活保護を利用できる人の2割程度しか利用できていない状況をさらにひどくし、餓死や孤立死をうみだすことになるでしょう。国民の生存権を危うくする生活保護法「改正」案は廃案にすべきです。

請願項目

1、生活保護法の「改正」案を廃案にすること。

氏名	住所

[取り扱い団体]

この署名は、国会に提出する以外に使用しません。

全国生活と健康を守る会連合会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-12-15 KATO ビル 3F 電話 03-3354-7431